

院外処方箋に記載されている検査値一覧 (2021年2月8日現在)

略号	検査項目名	基準範囲	単位	項目の説明
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~33	U/L	心臓・肝臓・筋肉・腎臓などに存在する酵素です。これらの臓器が障害を受けると、この酵素が血液中に放出され、高値を示します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	6~30	U/L	主に肝臓に存在する酵素です。肝細胞が障害を受けると、この酵素が血液中に放出され、高値を示します。
γ-GTP	ガンマグルタミルトランスフェラーゼ	男性：11~58 女性：6~46	U/L	蛋白質を分解する酵素の1つです。肝臓や胆道に異常があると、高値を示します。
T-Bil	総ビリルビン	0.1~1.0	mg/dL	胆汁色素の主成分です。黄疸の程度や肝・胆道系疾患の有無やその程度を知ることができます。
BUN	血中尿素窒素	8.0~20.0	mg/dL	蛋白質が身体の中で分解されたときにできる老廃物で、腎臓から尿中に排出されます。腎機能が低下すると、高値を示します。
CRE	クレアチニン	男性：0.69~1.06 女性：0.48~0.79	mg/dL	クレアチニンは筋肉内にあるクレアチンの最終産物で、腎臓でろ過され排泄されます。腎機能が低下すると、高値を示します。
eGFR	推算糸球体ろ過量	—	mL/min/1.73m ²	血清クレアチニン値、性別、年齢から算出される腎機能の指標です。慢性腎臓病の評価に用いられます。
WBC	白血球数	4.0~8.6	×10 ³ /μL	生体を細菌やウイルスから守る免疫に役立つ細胞です。感染症や喫煙、ストレス、血液疾患等で高くなります。
Neut	好中球	45~74	%	白血球の中の顆粒球の一種です。細菌や真菌感染から体を守る主要な防御機構を持っています。
HGB	ヘモグロビン濃度	男性：14~18 女性：12~16	g/dL	赤血球の中に含まれる酸素等を運ぶ成分です。低下すると貧血症状が生じます。
Plt	血小板数	15~35	×10 ⁴ /μL	出血したときに血液を固めて止血する働きを担う成分です。
CRP	C反応性蛋白	0.33 以下	mg/dL	体内に炎症があるとき血液中に現れる蛋白質です。炎症性疾患の有無や程度の指標となります。
Na	ナトリウム	135~145	mEq/L	電解質のバランスの指標です。体液のバランス維持の役割を果たしています。
K	カリウム	3.4~4.9	mEq/L	電解質のバランスの指標です。神経伝達や筋伸縮に関与しています。
Ca	カルシウム	8.5~9.9	mg/dL	歯や骨の形成、神経・筋肉の興奮、血液凝固などに関与するミネラルです。主に、内分泌疾患や骨代謝異常で変動します。
Mg	マグネシウム	1.2~2.0	mEq/L	電解質バランスの指標です。神経や筋肉の情報伝達に関与しています。
CK	クレアチンキナーゼ	男性：62~287 女性：45~163	U/L	心筋や骨格筋などの筋肉に存在する酵素です。これらが障害を受けると、高値を示します。
Alb	アルブミン	3.8~5.1	g/dL	血液中に最もたくさんある蛋白質で、肝臓で合成されます。栄養障害、肝臓や腎臓の障害の時に低下します。
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.6~6.2	%	ブドウ糖とヘモグロビンが結合したものをいいます。過去4~8週間の長期間の血糖管理を反映しています。
PT-INR	プロトロンビン時間 (INR)	—	—	血液凝固能の指標です。肝機能障害時に異常を示します。また抗凝固薬の効果判定に使用します。
PT(秒)	プロトロンビン時間	10~13	秒	止血機構を担う凝固因子の活性を示しています。凝固因子を合成する肝臓の機能が低下すると、延長します。